

2008年2月28日

～長野県とセブン-イレブン、地域活性化包括連携協定の取り組み～ **環境に配慮した実験店舗として初出店！**

～2/29（金）セブン-イレブン長野吉田2丁目店オープン～

株式会社セブン&アイホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役会長 最高経営責任者<CEO>：鈴木敏文）傘下の株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>山口 俊郎）は、2008年2月29日（金）長野市吉田に、エネルギー効率の高い省エネ型の照明等を導入した環境配慮型の実験店舗セブン-イレブン長野吉田2丁目店を開店いたします。長野県とは、2007年11月に「地域活性化包括連携協定」を締結しており、環境保全に関する取り組みを推進しております。

また、このたび長野吉田2丁目店にて、2月29日（金）と3月1日（土）の2日間、長野県と連携したオープニングキャンペーンを実施いたします。併せて、長野県等が募集した「環境保全に関するポスターコンクール」の入選作品を店内に掲示いたします。

当社は従来より、エネルギー効率の高い省エネ型設備を導入しているほか、店舗施設・設備の定期点検やメンテナンスを実施し、各店舗における電気使用量の削減に努めています。今回の店舗は、これまでの取り組みと新たな取り組みを併せた、セブン-イレブン初の環境配慮型の実験店舗となります。

記

環境配慮に関するセブン-イレブンの考え方

セブン-イレブンは、「24時間営業・年中無休」という形態でコンビニエンスストア事業を営んでいます。しかし、創業当時、こうした長時間の営業形態に適合する設備機器は国内に存在しませんでした。そこで、1973年の創業当初から設備機器メーカーをはじめとするお取引先様各社に協力を依頼し、陳列ケースや照明器具等、さまざまな設備機器を共同開発してきました。これらの開発にあたっては、お客様に気持ちよくお買い物をしていただけることと、従業員が使いやすくなることだけでなく、できるだけ消費電力を抑えることを条件とし、また、いったん開発した設備機器も、さらなる省エネ化をめざして継続的に改善を進めています。

1.環境配慮型実験店舗の概要

- 店 名 : セブン-イレブン長野吉田2丁目店
- 開 店 日 : 2008年2月29日（金）
- 住 所 : 長野県長野市吉田2丁目436番の3
- 営 業 時 間 : 24時間年中無休

2. 環境配慮型実験店舗の特徴（セブン-イレブン長野吉田 2 丁目店）

(1) エネルギー効率の高い省エネ型の照明の導入

【目的】

店内照明や事務所等の照明をエネルギー効率の高い照明にすることで、消費電力を削減し、環境に配慮いたします。

【設置場所】

- 店内照明
 - ・高出力照明器具を採用することで、従来 85 本の蛍光灯を 63 本に減らし、効率的な配列により、電気代と運用コストが削減され、省エネを図ります。
 - ・床にセラミックタイルを使用することで、相乗効果により照度を向上させ、商品を見やすく買いやすくしております。
- 事務所・倉庫の照明器具
 - ・あかりセンサーを使用し、従業員がいる時といない時で明るさを変化させ、省エネを図ります。

<店内照明>

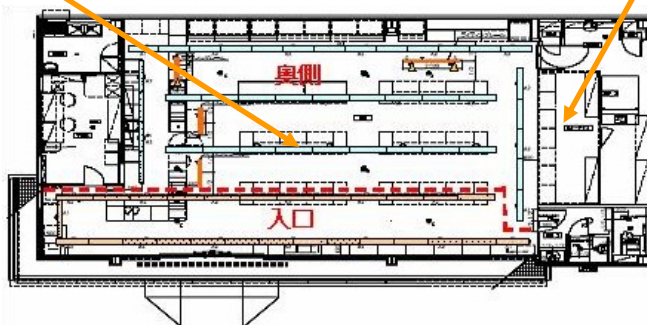


<事務所・倉庫の照明器具>

調光型照明器具



人感あかりセンサー



【CO₂削減効果（省エネ型の照明の導入後の各数値）】

	年間消費電力	年間 CO ₂ 削減量	現行比
店内照明	3,104 kwh	1,173 kg-CO ₂	▲15.7%
事務所	276.4 kwh	104.5 kg-CO ₂	▲46.3%
倉庫	552.0 kwh	208.5 kg-CO ₂	▲46.3%

※店内照明の蛍光管等はいサイクルを推進しております。

セブン-イレブンは、1998 年 4 月お取引先様の協力を得て、それまで不燃物として処分していた蛍光灯をガラス再生品等にリサイクルする独自のシステムを構築しました。開始当時は売場の蛍光灯だけを対象としていましたが、2002 年 4 月からは倉庫や冷蔵冷凍設備の蛍光灯も対象に含め、毎年 1 回、回収・リサイクルしております。

(2) 長野県との連携によるオープニングキャンペーンについて

- 期 間 : 2008年2月29日(金)と3月1日(土)の2日間
店 舗 : セブン-イレブン長野吉田2丁目店
概 要 : ・期間中、「ショッピングバッグ」をご持参の上、店内の商品を700円(税込)以上お買い上げのお客様につき、1回抽選ができます。
賞 品 : ・抽選で以下の賞品をプレゼントいたします。
「信州エコ“泊”覧会」登録施設
「渋ホテル(長野県山ノ内町)」宿泊券 2名様
(1泊14,000相当の賞品)
抽選で外れた方にも「信州エコ“泊”ウエットティッシュ」をプレゼントいたします。
- 協 賛 : 信州キャンペーン実行委員会(事務局:長野県観光部内)
- ※ ショッピングバッグは、お客様がお手持ちのバッグ全てが対象となります。
※ 「信州エコ“泊”覧会」は、環境に配慮した「エコ心」をもったおもてなしを実践する長野県内の宿を登録し、自然や文化を守り育み次世代へつなぐ、持続可能な観光をとともに目指す取り組みです。

ショッピングバッグは、セブン-イレブン店舗でも販売しております。

- ・商品名 : カラフルショッピングバッグ
- ・価格 : Mサイズ=300円(税込)(一部取り扱いのない店舗もございます)
- ・容量 : 約11ℓ 約28.5cm× 約23cm× 約17cm
畳みサイズ 約16.5cm× 約13cm× 厚さ約2cm
- ・カラー : 赤、青、黒、オレンジの4色



(3) 長野県との連携による「環境保全に関するポスター」の掲示

- 概 要 : 長野県と信州豊かな環境づくり県民会議では、自然保護及び生活環境に対する認識を深め、環境保全意識の高揚を図るため、6月の「環境月間」における事業の一環として、県内の小学校、中学校及び高等学校の児童・生徒並びに一般の方々を対象に、環境保全に関するポスター及び標語を2007年8月末まで募集され、2007年12月に入選作品90点が発表されました。
応募作品数は、ポスター3,843点、標語309点、応募総数4,152点。
その入選作品の中からポスター3点を店内に掲示します。

- 掲示期間 : 2008年2月29日(金)から3月7日(金)の8日間
店 舗 : セブン-イレブン長野吉田2丁目店

3. セブン-イレブン店舗のこれまでの環境配慮設備への取り組み

<u>時期</u>	<u>内容</u>	<u>年間消費電力削減量</u>
1977年03月	店内の照度を見直し電灯を取替え	▲8,760 kwh/年
1978年02月	リーチインドア枠に湿度感知式の結露防止ヒーターを導入	▲7,530 kwh/年
1980年03月	省エネ蛍光管の採用	▲1,752 kwh/年
1980年03月	24時間店舗に段調光（外光の明るさにあわせて店内の明るさを調整）導入	▲3,011 kwh/年
1980年04月	冷房28度・暖房18度に温度設定	▲6,607 kwh/年
1980年05月	店内照明の調光の改善	▲2,882 kwh/年
1981年03月	リーチインケースの断熱材の改善	▲7,008 kwh/年
1984年01月	空調暖房用補助ヒーターの廃止	▲1,923 kwh/年
1986年01月	調光付の点灯看板設置	▲638 kwh/年
1996年08月	吸気型空調機導入により、排気用換気扇を廃止	▲1,437 kwh/年
1997年11月	電灯空調用節電装置導入	▲8,672 kwh/年
1998年01月	高断熱・高気密店舗の取り組み	▲1,927 kwh/年
1998年10月	リーチインケースのインバーター式コンプレッサーを導入	▲4,175 kwh/年
1998年10月	空調機のインバーター式コンプレッサーを導入	▲2,065 kwh/年
2007年03月	店内照明の効率的な配置とセラミックタイルの採用	▲1,039 kwh/年
2007年08月	おでんウォーマーのIH機器の導入	▲623 kwh/年
2007年11月	ウォークイン扉の結露防止ヒーターの廃止	▲1,680 kwh/年

以上